

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 12 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203492		
法人名	アイエルエス株式会社		
事業所名	グループホーム太陽		
所在地	広島市佐伯区利松三丁目25-42 (電話) 082 (929) 5533		
自己評価作成日	平成28年11月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470203492-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470203492-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年12月1日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

事業所の理念の「いつもの生活がそこに」を社会の一員としてを付け加えました。社会の一員として外部の人（幼児から高齢者まで）との関わりをしっかりとる様に心がけています。ボランティアとして、幼稚園児さんの訪問をして頂いたり、演奏のボランティアさんに来ていただいたり、お祭りの御神輿を見学したりと、季節を感じて頂ける様努力しています。又個別ケアに重点をおき、医療との連携を密にとり、健康管理に留意しながら、健やかに過ごして頂ける様にしています。ご家族とも連携をとりながら、信頼を得られる様努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、「希望される利用者には、利用を断ることなくケアしたい」を大切に、利用後はいつもの生活が送れることを支援し、利用者一人ひとりを社会参加させてあげたり、自由に自分のペースで縛りのない生活を支援出来るように、職員が日々頑張っている。事業所は職員が希望すれば資格取得等、スキルアップ出来る様に協力する体制がある。職員の知人の子供が通っている幼稚園に声掛けして園児に来てもらい、歌を歌ってもらったり、家族の知り合いの協力で、ギターやマンドリン演奏に来所頂いたりしながら、地域と交流することに積極的に取り組んでいる。又、同業者のネットワークにも加入しながら交流し、研修等を通じてサービスの質の向上を目指し努力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念があり、所内に提示している。また職員とは、朝の申し送りの時、話題に出している。	「自分のペースで自分らしく生活する」を理念に、介助者の都合でなく、本人本位の生活を心掛け、職員は知り得た情報を共有し、日々の支援に繋げる様努力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	老人会に誘って頂いたり、お祭りの神輿を見学したりさせて頂いている。	町内会に入会しており、地域住民に誘って貰いながら、近隣の祭りやホームセンターの祭り等に出掛けている。理念にも有る様に、自宅で過ごしているような暮らしを目標に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域包括支援センターの方や民生委員とお話しさせて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回会議を開いている。	会議は定期的で開催されており、日常よく来所される家族に声掛けし、会議に出席してもらい、職員、住民、市町等と意見交換を行っている。	会議の内容は、行事等の実施状況、苦情、事故等の報告、評価や要望と多岐に亘っているが、議事録の記載内容が乏しく、今後は記録の内容等、作成に努力される事を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	福祉担当の方などと、病院受診等の容体等について連絡をとり、連携を保っている。	担当の市町とは、常に報告等を通じて連携を取っている。又、利用者のコンプライアンスに関する件で、相談する等、更なる協力関係を築く取組みがされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束のマニュアルを作成し、防止に向けた規定を策定している。玄関は、夜のみ施錠している。</p>	<p>運営規定に身体拘束に関するガイドライン「切迫性」「非代替性」「一時性」を記載し、防止に向けて職員一同がこれを共有しながら、勉強会等を通して取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止のマニュアルを作成し、周知に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人の申込みをしています。社会福祉協議会（かけはし）を利用させて頂いている。研修等で、学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、十分に時間を取り、不安や疑問が残らない様説明し、質問に答えている。納得がいった上で、契約をさせて、頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約者に苦情申し立てのできる窓口や、申し立てによって、利用者に不利益な扱いを行わない事を明記している。</p>	<p>家族が来所時に、意見を聴く機会を設ける等、希望があれば管理者及び職員は話し合いを行い、運営に反映させる様取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	朝の申し送り等で、個々の話しを聞いている。	日々の申し送りノート等で、意見が記入されている場合は、該当職員から詳細を聞き取り、個々には働き方の提案、資格取得、研修の参加希望等、広く意見を取り入れ、反映されるよう取り組んでいる。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	代表者は、勤務表等により勤務状況を把握し、管理者の報告により、職場の人間関係、やりがい等を理解している。また職員用のマッサージジチェアを入れる等、現場環境を整備している。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	職員の教育計画書を作成し、管理者や職員に社外の研修を受講させている。社外研修も随時実施している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	同業者のネットワークに加入しており、会議、勉強会、交流会等に参加している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	担当のケースワーカーや、ケアマネジャー、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、聴く機会を設け、信頼構築に努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>担当ケースワーカーや、ケアマネ、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、聴く機会を設け努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族と十分に情報交換し、本人と周囲の環境をよく検討し、見極める事ができる様に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家事等、日常生活上の作業を通じ、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築く様に努力している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時間を特に設けずに、来たい時に気楽に来所して頂き、又行事等にも参加して頂き、本人を共に支援していける関係を築けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望に沿って電話、手紙等出来る様に支援している。誰でもお部屋に泊まれる様に支援している。</p>	<p>面会時間は特に定めていない。利用者の希望に応じて、月に1度の法話に家族と出掛けたり、又、食事に出掛けたりしている。外泊も1週間かけて家族旅行を楽しんだり、出来る限りの支援を心掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を把握する様に努めており、共同の作業等を通じ、支えあえる様にしている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	希望により、相談等、支援できる様に努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日々のコミュニケーションを通じて、しっかり傾聴し、本人の希望、意向を把握する様に努めている。	利用時に聴き取った生活歴をベースに、日々の暮らしの中で把握した意向を、職員は共有しながら支援している。一人暮らしだった利用者は、日々の会話を通して、情報を把握する様に努めている。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	関係者から、可能な限りの情報をもっている。又、本人からも引き出せる様に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	毎日の記録の中に記録し、又スタッフ間の申し送り等で、現状の様子を把握する様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	本人や家族の意見を尊重し、支援している。	介護計画は、管理者が本人や家族、必要な関係者の意見を聞き、半年に1度の見直しを行い、必要があればその都度、現状に即した計画の見直しをしている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	記録を工夫し、情報を共有し、その都度計画を見直している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	項目通り実施している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	警察、消防等の機関と協力している。ボランティアの方も少しづつ増えてきている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	かかりつけ医と常に連携をとり、適切な医療を受けられる様にしている。	協力医療機関と常に連携を取っており、希望があれば家族同行で他の医療機関に受診出来る。訪問看護は24時間体制で、週1度健康管理に訪れ、口腔ケア専門医も同じく週1度来所し、予防にも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	訪問看護ステーションと契約し、訪問時以外でも常に相談連絡し、適切な看護を受けられる様になっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時主治医、相談員等情報交換をしっかりし、連携をとっている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	利用時、ご家族としっかり話し合い、終末期の時の方向性等を話し合っている。	利用時に家族に説明を行っている。重度化した場合、申し送りノートに対象利用者の状態を記録し、職員はそれを参考にしながら、支援の方針を共有している。	説明は口頭で行っているが、今後は必要に応じて文章を交わし、方針を確認しながら共有し、又、職員研修も重ねながらの更なる取り組みに期待したい。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	急変や事故発生時のマニュアルを作成して、周知に努めている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	資格を持った防火管理者を配置し、消防局に消防計画の届け出をしている。また、スタッフへの周知にも努めている。近隣住民との訓練も実施している。	年2回、消防訓練を実施している。管理者は防火管理者と共に、昼夜を問わず避難出来る体制を構築すべく、スタッフや地域住民と取り組めるよう努力している。	防火管理者を核に、マニュアル、ハザードマップ、有事の避難経路等を作成する等、職員には研修を重ねながら、更なる取り組みに期待したい。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者が全職員の接遇を観察し、適時注意、喚起している。	事業所は「独自の生活歴を有する個人として尊重」を掲げ、管理者は職員に親しみの中にも、人格やプライバシーが侵害されないよう研修を行ったり、平素の支援に活かされるよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	希望を聞いたり、引き出せる様コミュニケーションを図っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や昼寝の時間等、希望や日々の体調に応じて、個々に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	必要な衣類等、本人と買い物に出て、選んで頂ける様支援している。理美容についても自由に選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	積極的に希望を聞き、できる範囲で応えている。	月に2回、利用者とスタッフがテーブルを囲み、楽しく食事づくりを行っている。買い物は希望者と共に近くのスーパーに出掛け、おやつ等を購入している。誕生日には手作りケーキを囲んでお祝いをする等、様々な支援を行うよう努力している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	食事や水分の摂取量を記録し、栄養バランスに気をつけている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後、口腔ケアをしている状況を把握している。週に一度、訪問歯科に見て貰っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	排泄の時間を記録し、パターンや習慣を把握している。また適時の誘導、声掛けを行っている。	生活記録に排泄パターン等を記録している。心掛けているのは、早めに対応することで、排泄の自立に向けた生活が出来る支援を目指している。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	水分をしっかり取って頂いたり、体を動かして頂いたり、便秘予防をしている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	入浴の曜日や時間は決まっているが、個々の体調や希望に応じて、柔軟に対応している。	平均入浴回数は、週2～3回位で、家庭的な雰囲気が入浴出来る様心掛けている。今後は、入浴を好まない利用者に対しても、アイデアを出し合いながら、更なる支援への取り組みを検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p><b>○安眠や休息の支援</b></p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる。</p>	睡眠の状況を記録し、必要に応じて医師 に相談し、処方を変えてもらう等支援 している。		
47		<p><b>○服薬支援</b></p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。</p>	薬の説明シートを保管し、情報を共有し ており、急変時には、医師にすぐ報告し ている。		
48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b></p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力 を活かした役割、嗜好品、楽しみご と、気分転換等の支援をしている。</p>	個々にあった役割や楽しみがあり、継続 できる様支援している。		
49	18	<p><b>○日常的な外出支援</b></p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援してい る。</p>	買い物に参加していただいたり、散歩に 出かけられたり、家族に協力してもらっ て、外出している。	利用者一人ひとりの心身の状態を見極め ながら、出来るだけ本人の希望に添っ て、散歩や買い物に出掛ける支援を行っ ている。	
50		<p><b>○お金の所持や使うことの支援</b></p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切 さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持した り使えるように支援している。</p>	トラブルを避ける為に、おもに希望の物 を預かり、現金で購入している。金銭管 理が可能な方には、トラブルに十分配慮 しながら、所持していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば電話、手紙のやり取りができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>落ち着いた雰囲気を演出できるように、光量を調節したり、音楽を流したりしている。</p>	<p>リビングを中心に、それぞれの居室が有り、訪問時も食後に皆がテーブルを囲んでクリスマスの貼り絵の色を決めたり、細かく千切ったりして、楽しそうに作成していた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイニングテーブルとは別に、ソファを2脚設置し、工夫をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの家具があれば、お持ちしていただくようにしている。</p>	<p>居室は、少し高めの大きな窓が各部屋にあり、窓は自由に開閉が出来て、空気の入替えはスタッフが小まめに行っている。自身で出来る人はスタッフと共に掃除を行い、家庭にいるような生活出来る様に支援されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>空室が出た場合には、ご本人の状況によって居室を変える等、柔軟に対応している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	+	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 太陽

作成日 平成29年1月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議においての記録を詳しく明記する。	1枚の記録を見るだけで、理解出来る様にする。	集まった人数、議題の内容、誰がどの様な発言をされたか、又それを、どの様に生かしていくか等の記載をしていく	6ヶ月
2	33	終末期について書面で確認しておく	いずれ来る終末期について事前にしっかりはなしておく	入居時に終末期について家族様としっかり、話し合い書面に残しておく	6ヶ月
3	35	災害対策として、皆な にわかる様にしておく	全スタッフがしっかり把握しておく	避難経路等（ハザードマップ）、マニュアル等分かる所において、全スタッフが把握する様に会議等をする。	6ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。